APTECニュースレター　vol.10

平素はAPTECの事業につきましてご支援を賜り厚く御礼申し上げます。今後もUNWTO及び観光関係各所と連携し、持続可能な開発目標(SDGs)の達成に向けて協力して参りますので、皆様のご協力を何卒よろしくお願い申し上げます。
※APTECは国連世界観光機関（UNWTO）駐日事務所を通してUNWTOの活動を支援している団体です。

◯【特集】UNWTO本部職員　中村氏インタビュー

APTECニュースレター改善のための賛助会員様に対するアンケート調査では、UNWTO本部の取組についての情報発信を希望する会員様の声をいただきました。株式会社JTBの中村滋之さんが2020年1月にUNWTO本部に赴任されました。前号の小澤さんに引き続き、日々UNWTO本部で奮闘されているUNWTO職員の中村滋之さんにインタビューを行いました。

◯自己紹介（御自身の来歴、現在の職務内容等）

1994年㈱日本交通公社(現㈱JTB)入社。店頭営業から始まり法人営業、自治体･官公庁の事業担当を経て訪日インバウンド推進担当として海外エージェント営業や国際会議、各種MICEの運営等に関わりました。日中韓観光大臣会合、伊勢志摩サミット、即位の礼などで各国首脳陣のロジ業務を推進。㈱JTB本社で訪日インバウンド戦略の政策推進担当を担った後、UNWTOへの出向を命ぜられました。

UNWTO本部職員の中村滋之氏

UNWTOではRegional Department for Asia and the Pacificというアジア･太平洋地域を担当するチームで各加盟国の観光政策推進支援等に取り組んでいます。

◯国連機関で働くことの魅力について

各国から集まる優秀な職員の皆さんから日々多くの刺激をいただく事ができる環境です。皆チームワークを重視し少しでもベターな答えを探し議論し助け合う風土であり、日々同僚の皆さんに感謝です。

スペインでも猛威をふるった新型コロナウイルス感染症の影響により全員が2か月近い外出禁止令のもと長期間不自由な在宅環境で業務を進めざるを得ませんでしたが、お互いコミュニーケーションの質を落とさぬよう協力し、組織が前へ進む速度を落とさぬよう努めました。

◯新型コロナウイルス感染症に関するUNWTOの具体的取組

今回、世界の産業の中で最も経済的打撃を受けているのがツーリズム産業であり、特に雇用維持の問題が危機的です。G20では、既存の資金不足と今回のパンデミックに適切に対処するために、政府、民間組織、慈善家に対して総額 80 億米ドルの拠出を求める声明が出されました。そして、UNWTOはこうした動きの背景の下、世界観光危機管理委員会を開催し、経済的に最も脆弱かつ危機にさらされているツーリズムの何百万もの雇用や生計を保護すべきと各国政府を主導しています。また、ロックダウン解除後を見据え、世界中で実施されている旅行制限について安全が確認され次第解除するよう政府に求めるとともに、各国の観光セクターの回復に向けた支援のためのテクニカルサポートパッケージを準備しています。

※関連リンク先（和訳）
URL:https://unwto-ap.org/wp-content/uploads/2020/04/9527a015da2da4f8ccf60418b111eced.pdf

※関連リンク先（英語）
URL：https://www.unwto.org/news/firm-action-by-governments-to-support-tourism-recovery-covid-19

◯UNWTO本部勤務にあたっての抱負

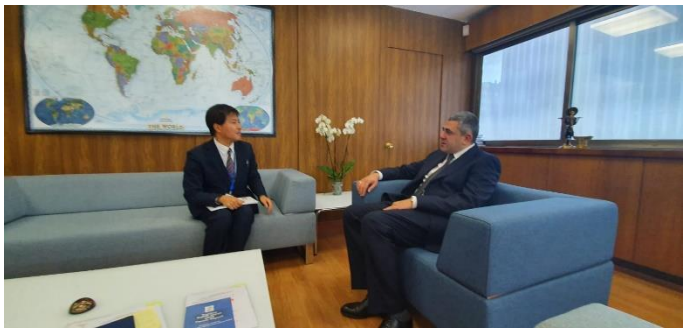
SDGsなどの推進を経つつツーリズムが果たす究極の役割は、世界平和だと思っています。それを念頭に置きながら、UNWTOが少しでも、加盟国や賛助加盟員の皆さまのお役に立つ活動を実施していけるよう事務方として目の前の課題をひとつひとつ着実に解決しながら極力迅速に前へ進めて参ります。

◯日本の観光振興のための課題や提案

（ここでは一旦、新型コロナウイルス感染症の危機以外について記載します。）
観光業とその裾野を含むツーリズム産業全体による経済効果が、製造業などに引けをとらないものであり、日本経済の成長ドライバーになりつつあることの認知が進む一方、局所的なオーバーツーリズムの現象をメディアが安易に「観光公害」などと不正確な日本語表現を用いてあげつらう残念な傾向も一部見受けられます。観光に関する事象が取り上げられる機会が増えたこと自体は望ましいですが、地域の発展に寄与する好機であるはずの観光振興そのものが悪者のように捉えられかねない風潮は避けるべきであり、同時にそう誤解されぬよう地域の環境保全、地域の皆様の生活との共存といった持続的な観光開発の重要性こそが浸透されるべきです。観光振興＝オーバーツーリズムの原因、という短絡的な誤認識を防ぐ取組も特に日本国内では必要のように感じます。

◯APTEC会員へのメッセージ

上記のような今後の大きな方向性は別として、今現在は、新型コロナウイルス感染症の深刻な打撃によりそれどころではなく、日本全国でツーリズムに関わる全ての事業者の皆さまが事業継続とそれに伴う雇用問題が危機に瀕しておられることを認識しております。これらを政府が資金的によりバックアップできるよう当UNWTO本部の代表も緊急の問題としてG20の枠組みを通じて各国に訴えかけ続けております。まずは生き延び、再び成長のサイクルに移れるよう、皆で力を合わせて難局を乗り切りたい思いで一杯です。皆様と皆様のご家族の安全と健康を心よりお祈り申し上げます。



中村氏とUNWTOのズラブ・ポロリカシュヴィリ事務局長

◯ワンポイント『新型コロナウイルス感染症に対するUNWTOの行動』

このコーナーでは、全世界で猛威を振るう新型コロナウイルス感染症をテーマに取り上げます。観光セクターがこの危機を乗り越え復興するために、UNWTOが実施してきている取組や支援について記載します。

＜世界観光危機管理委員会の設置＞

新型コロナウイルス感染症に対応する観光セクターを主導し、関係国連機関や各国と連携を強化し、将来的なレジリエンス（強靭性）と持続可能な成長に対する基礎を構築するために設立されました。

構成メンバー：世界保健機関(WHO)、国際民間航空機関(ICAO)、国際海事機関(IMO)、UNWTO加盟国及び賛助加盟員の代表者

民間部門では、空港評議会インターナショナル(ACI)、クルーズライン国際協会(CLIA)、国際航空運送協会(IATA)及び世界旅行観光評議(WTTC)が代表

＜「回復を加速するための行動」に関する推奨事項（レコメンデーション）＞

UNWTOは、世界の観光セクターに対して、緊急かつ強力な支援を求める一連の推奨事項を発表しました。（以下3つの主要な分野に分かれた23の実行可能な推奨事項を提供）

①危機を管理し、影響を緩和する　・・・雇用の維持、中小零細事業者への支援等
②刺激策を与え、そして復興を加速する　・・・優遇的な税制を含めた財政的な刺激、公衆衛生上の緊急事態終息後の旅行制限の解除等
③明日に備える　・・・ レジリエンス（強靭性）構築に係る観光セクターへの貢献、循環型経済への移行に向けた機会の活用等

URL（和訳）：https://unwto-ap.org/wp-content/uploads/2020/05/82a5888e7ccbc00e959597be7cf95121.pdf
（英語）：https://webunwto.s3.eu-west-1.amazonaws.com/s3fs-public/2020-04/COVID19_Recommendations_English_1.pdf

＜各国の観光業に対する統計情報や施策の検索（TOURISM DATA DASHBOARD）＞

UNWTOのウェブサイトでは、新型コロナウイルス感染症に関連し、各国の国際・国内観光の状況に関する統計情報や、観光産業に対し各国が実施している施策を検索することができる特設ページを開設しています。旅行・観光セクターにおける新型コロナウイルス感染症の影響の緩和と復興の加速に向けて、金融財政策、雇用、官民連携、調査研究等のカテゴリー別に、各国の対策を共有しモニタリングすることを目的としています。

URL（英語）：https://www.unwto.org/unwto-tourism-dashboard

＜報告：観光の課題を解決するためのチャレンジ（Healing Solutions for Tourism Challenge）＞

UNWTOは、同感染症からの観光セクターの復興を支援するための新たな解決策を世界中から求め、世界保健機関（WHO）と共同で、世界のイノベーターや起業家によるコンペティション、「観光の課題を解決するためのチャレンジ（Healing Solutions for Tourism Challenge）」を実施しました。
ファイナリストに選ばれた解決策には、洗浄やアルコール消毒後の手をスキャンし、ウイルスが付着していないかを可視化するモニタリングシステムや、スーパー等の店内の人数をリアルタイムで数え、上限を超えるとアラートで知らせるセンサーシステム等が紹介されており、下記URLに詳細が掲載されています。

URL（英語）：https://www.unwto.org/healing-solutions-tourism-challenge

＜観光回復支援策を発表＞

国連世界観光機関(UNWTO)は、観光回復支援策(Tourism Recovery Technical Assistance Package)を発表し、新型コロナウイルス感染症に対応した指針を加盟国に提供しました。

この解決策は、経済回復、マーケット・プロモーション、組織強化・レジリエンス（強靭性）構築の 3 つの主要な柱で構成されています。

URL（和訳）：https://unwto-ap.org/wp-content/uploads/2020/05/e43f6abd6bdb65e99770aef843bde6ae.pdf
URL（英語）：https://webunwto.s3.eu-west-1.amazonaws.com/s3fs-public/2020-05/COVID-19-Tourism-Recovery-TA-Package_8%20May-2020.pdf

＜UNWTOから観光産業へのメッセージ＞

◯#TravelTomorrow

UNWTOが提唱するオンラインキャンペーンです。「今日は家で過ごすことで、明日旅行できます（By staying home today, we can travel tomorrow）」という連帯と希望のメッセージを含み、世界中で広がるSNSメッセージとなっています。

※画像等関連コンテンツは以下URLからご利用ください。

URL（英語）：https://trello.com/b/5JV7MfiW/unwto-covid-19

◯各種ウェブ会議（UNWTO本部ウェブ会議等）からのメッセージ

同感染症に対する観光産業の対応や復興に関する上記の各種ウェブ会議（UNWTO駐日事務所出席）から、観光産業へのメッセージが発信されています。

・現段階でも旅行を検索する人は減っていない。

・まずは近い地域の人々が訪れる形態の観光（local）から始まり、国内旅行が回復し、次に海外旅行が増えていくと予想される。このような動きを踏まえ、マーケティングを十分に行うことが大切である。

・同感染症後はデスティネーションの安全性に対する観光客の信頼の回復が重要であり、今後変化を求められる対応（衛生環境、デスティネーションの安全性に関する情報提供等）に加え、新型コロナウイルス感染症で人々の間の信頼が失われているので、 PRする際には観光名所だけでなく、地域の人々の暮らしや、観光によって地域の人々がいかに支えられているか等に 焦点を当てPRすることが有用である。

・レジャー旅行がビジネス旅行より早く復興すると予想されており、中でもアウトドアツーリズムの需要が今後高くなると考えられている。

・今後の観光では、衛生と安全面の確保が最優先事項となる。そして、旅行制限中においても情報発信を続けることが重要である。情報発信はデスティネーションとブランドイメージの確保や安心・安全のPRにもつながり、デスティネーション訪問の動機づけとなる。

・同感染症後、農村観光に関する開発デジタルスキルが期待されている。デスティネーションが抱える課題を、デジタルによるブランディングやプロモーションで解決するため、現在インターネットを通したデジタルスキル取得のトレーニングが推奨されている。

＜UNWTOの新型コロナウイルス感染症関連情報＞

UNWTO駐日事務所では、UNWTO本部発信の声明文や調査等を和訳してウェブサイトに掲載しています。（以下URLからアクセスできます。）

・UNWTO本部発信の声明文（和訳）、関連リンク等
URL：https://unwto-ap.org/topics/covid-19/ ※UNWTO駐日事務所のHPです

・UNWTO本部の新型コロナウイルス感染症特設ページ（英語）
URL：https://www.unwto.org/tourism-covid-19 ※UNWTO本部のHPです

※また、UNWTO本部のウェビナーに関する情報は以下URLからご覧いただけます。

・UNWTO本部ウェビナー専用ウェブサイト（英語）
URL:https://www.unwto.org/academy/digital/resources

・今後のウェビナーのスケジュールに関するウェブサイト（英語）
URL：https://www.unwto.org/academy/education-and-training-initiatives

＜APTEC/UNWTO駐日事務所の活動＞

＜令和元年9月9日～13日＞第23回UNWTO総会に出席しました

＜令和元年9月17日＞JICA課題別研修で講演を行いました

＜令和元年9月22日～23日＞UNWTO INSTO 2019ミーティングに参加しました

＜令和元年10月2日～4日＞南太平洋観光機構協議会で研究調査発表を行いました

＜令和元年10月7日～9日＞大メコン圏イノベーティブスタートアップ会議で講演を行いました

＜令和元年10月24日＞ツーリズム EXPO ジャパン【への参加】及びUNWTO世界観光倫理憲章民間部門における誓約 署名式を開催しました

＜令和元年10月26日＞G20北海道倶知安観光大臣会合に参加しました

＜令和元年10月28日＞「ガストロノミーツーリズム国際シンポジウム」を奈良県と開催しました

＜令和年11月5日～6日＞第23回島嶼観光政策フォーラム事業（ITOP）沖縄で講演を行いました

＜令和元年11月7日＞東アジア地方政府会合で講演を行いました

＜令和元年11月10日～14日＞UNWTO INSTO中国年次会議で講演を行いました

＜令和元年11月18日＞JICA課題別研修で講演を行いました

＜令和元年11月18日～20日＞International Network of Sustainable Tourism Observatories (INSTO) Asia Workshopに参加しました

＜令和元年11月21日～22日＞2019年フィリピン観光会議で講演を行いました

＜令和元年11月27日＞名城大学外国語学科で講演を行いました

＜令和元年12月11日＞シンポジウム「都市観光の予測を超える成長に対する認識と対応～観光地をいかにマネジメントするか？」を開催しました

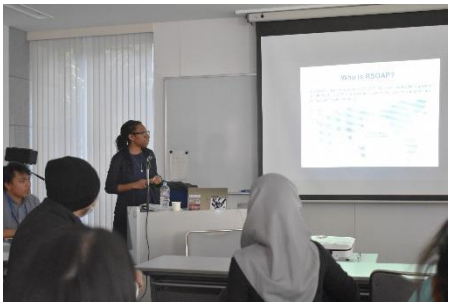
＜令和元年12月12日～13日＞「UNWTO/UNESCO 第4回観光と文化をテーマとした国際会議」に参加しました

＜令和元年12月19日＞沖縄県庁主催「沖縄観光推進ロードマップシンポジウム」で講演を行いました

＜令和2年1月7日＞中津川・恵那観光フォーラムで講演を行いました

＜令和2年1月21日＞奈良市立一条高校で特別授業を行いました。

＜令和2年2月10日＞「日ASEAN学生会議」で講演を行いました



＜令和2年2月13日＞沖縄県庁主催「サステイナブル・ツーリズム・シンポジウム」で講演を行いました

＜令和2年2月21日＞持続可能な観光東北フォーラム2020で講演を行いました

＜令和2年2月26日、27日、28日＞和歌山大学にて第2回「次世代観光リーダー育成に向けたワークショップ」を和歌山大学、JICAと共催しました

＜今後の予定＞

＜和歌山大学観光学概論＞で講義をします

日程：令和2年6月下旬予定

場所：オンライン配信

＜令和2年度第1回APTEC理事会＞を開催します

日程：令和2年6月22日（月）

場所：大阪商工会議所

＜持続可能な観光地づくり推進国際ネットワーク（INSTO）等を活用した持続可能な観光地マネジメントの推進に関する地方公共団体向け説明会・意見交換会＞を開催します

日程：令和2年7月3日（金）

場所：奈良県コンベンションセンター

＜畝傍高校「未来創造会議」＞に「指導助言者」として参加します

日程：令和2年7月23日（木・祝）

場所：奈良県立畝傍高等学校